

医療行動科学 4 : 604-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
4年次	通年	*内田 貴之 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：2単位</p> <p>【前期】 病気を「診断する」とは、単に病名を決定することではなく、患者さんが訴える症状や検査結果を基に異常な状態を把握し、全身的、心理的、社会的要因を含む幅広い情報から患者さんを総合的（全人的）に理解し、最適な治療を考えていく一連のプロセスを指します。近年、このように疾患や問題を明らかにし、解決に向けて思考する過程は「臨床推論」と呼ばれ、令和4年度改訂の歯学教育モデル・コア・カリキュラムにも新たに位置づけられています。</p> <p>前期の講義「歯科総合診療学」では、臨床推論の枠組みを用いて、患者さんの抱える疾病や問題をどのように考え、判断していくかを学びます。特に医療面接については、限られた時間の中で必要な情報を的確に収集し、患者さんとの信頼関係を構築するための基本的な考え方と実践的スキルを修得します。また、「一口腔一単位」の概念に基づいた治療計画の立案を通じて、患者中心の歯科医療を実践するための思考過程を学びます。</p> <p>【後期】 前期に学修した知識を基礎として、実際の臨床場面を想定した演習を行い、全人的医療を実践するための基本的な臨床技能を修得します。具体的には、良好な患者－歯科医師関係を築くためのコミュニケーション能力、「一口腔一単位」に基づく治療計画の立案能力、およびチーム医療の重要性を理解し、協力して患者中心の医療を実践する姿勢を身につけます。これらを通じて、来年度から始まる臨床実習において、実際の患者に適切に対応できる基礎的能力の修得を目指します。なお、SGDを中心とした、演習形式の作業を総合医学（隣接医学系）の時間と合わせ続けて行うので注意してください。</p>
担当教員	*内田 貴之、*青木 伸一郎、*遠藤 弘康、*岡本 康裕、*梶本 真澄、*秦 光賢、大沢 聖子、*鈴木 義孝、*桃原 直、*岩橋 諒、*大山 篤、*石井 広志、船越 光豊、永井 邦彦、須永 亨、森 正宏、*大山 和次、*井田 聡子
教科書	なし なし なし
参考図書	”痛み”の臨床推論 和嶋浩一【監著】 デンタルダイヤモンド社 歯科医療面接アートとサイエンス 伊藤孝訓【編著】 砂書房
評価方法 (E V)	<p>医療行動科学4の評価は、前期での評価（通年の評価割合50%）と後期での評価（通年の評価割合50%）を合算して最終評価とする。なお講義・演習は、前・後期を通して4/5を超えた出席を必要とする。前・後期を通して1/5以上欠席したものは後期末に再試験を行った場合の受験資格を喪失する。</p> <p>【前期】 授業時間内に2回行う平常試験1の評価（2026年6月18日（木）4時限目）（前期の評価割合50%）と平常試験2の評価（2026年8月20日（木）4時限目）（前期の評価割合50%）の合算をもって前期の評価とする。平常試験1または2を欠席した場合、希望する旨の申請があった者に対して追試験は1度だけ実施する。なお追試験の最高点は79点とし、平常試験1および平常試験2に対する再試験は行わない。</p> <p>【後期】 授業時間内に行う平常試験3（後期演習における医療面接に対する内容）（2026年12月15日（火）3時限目、隣接医学系の講義時間内に行う）および都度行う小テストの評価（後期の評価割合70%）、制作物・学修レポート等の提出物の評価（後期の評価割合30%）の合算をもって後期の評価とする。平常試験3を欠席した場合、希望する旨の申請があった者に対して追試験を1度だけ実施する。なお追試験の最高点は79点とし、平常試験3に対する再試験は行わない。</p> <p>前期および後期の評価を合算した最終評価が合格点に達しない者に対しては、再試験の措置を講じることがある。ただし必ず行うものではない。なお再試験を行った際に欠席した場合の追再試験は行わない。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>医療行動科学4は、これまでの3年間で学修してきた知識や技能を基盤として、それらを実際の臨床にどのように結びつけていくかを学ぶ科目です。本講義および演習を通じて、個々の患者さんに対して、より適切な判断と対応ができるようになることを目指します。なお医療者の具備すべき知識として、多くの新しい言葉が講義中に出てきます。内容を理解して、確実に覚えるようにしてください。</p> <p>前期の講義と後期の演習を段階的に履修することで、来年度から開始される臨床実習において、実際の患者さんに向き合うために必要な知識、技能、そして歯科医師としての態度を身につけることを期待しています。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/09 (木) 4時限 14:50～16:20	【前期】ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接と臨床判断学に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 医療行動科学4の意義、目的、講義内容、学修方法、講義形態を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：20分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/09 (木) 4時限 14:50～16:20	【前期】ガイダンス	<p>無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ①歯科医師のプロフェッショナリズムを説明できる。 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎
2026/04/16 (木) 4時限 14:50～16:20	臨床診断学（1） 1) 臨床（診断）推論 2) 診断プロセス 3) 医学判断学	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の診断思考に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 臨床情報には不確定性要素を含み、不確定性下で臨床判断を行うことを説明できる。 3. 基本的な診断論理を説明できる。 4. 意思決定の方法について説明できる。 5. 診断プロセス（診断情報の収集・分析・決定）について列挙し説明できる。 6. 医学判断学について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 基本的な問題解決法についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療（EBM） a 患者への適用</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ③口腔・顎顔面領域の疾患を正しく診断し、患者の立場を尊重した治療方針・治療計画を立案できる。</p>	*内田 貴之
2026/04/23 (木) 4時限 14:50～16:20	臨床診断学（2） 1) EBM 2) 研究デザイン 3) NBM	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、EBM・NBMに関する知識とともに、各種研究デザインの特徴を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. EBMの概念を説明できる。 3. EBMの手順を説明できる。 4. 一次研究と二次研究について説明できる。 5. 各研究デザインの特徴を説明できる。 6. 研究デザインのエビデンスレベルを説明できる。 7. NBMの概念を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、事前にアップした授業配信資料とSBOsの項目を確認する。 ・準備学修時間：20分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項</p>	*内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/04/23 (木) 4時限 14:50～16:20	臨床診断学 (2) 1) EBM 2) 研究デザイン 3) NBM	9 検査・臨床判断の基本 ク 根拠に基づいた医療 (EBM) b システマティックレビュー、メタ分析 (メタアナリシス) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-2 医学知識と問題対応能力 A-2-1) 課題探求・解決能力 ①必要な課題を自ら発見できる。 A-2-2) 学修の在り方 ①講義、国内外の教科書・論文、検索情報等の内容について、重要事項や問題点を抽出できる。 ②得られた情報を統合し、客観的・批判的に整理して自分の考えを分かりやすく表現できる。 A-8 科学的探究 A-8-1) 医学研究への志向の涵養 (研究マインドの涵養) ③患者や疾患を分析するために、教科書・論文などから最新の情報を検索・整理統合することができる。 A-9 生涯にわたって共に学ぶ姿勢 A-9-1) 生涯学習への準備 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善の必要性和科学的探究の重要性を説明できる。 ④科学的研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に積極的に参加する。	*内田 貴之
2026/05/07 (木) 4時限 14:50～16:20	医師の心理 1) 誤診 2) 医療過誤最少化	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療過誤が発生する要因に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 経験則による判断に内在する問題やバイアスを説明できる。 3. 臨床判断時の誤診を導く心理特性について説明できる。 4. 診断プロセスの各ステップに起こるバイアスを説明できる。 5. ヒューマンエラーについて説明できる。 6. 歯科の医療過誤訴訟の特性について説明できる。 7. クリティカルパスについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療の齟齬についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配信資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 カ 医療事故の防止 b 医療事故の発生要因 ク 医療裁判 a 医事紛争、賠償 カ 医療事故の防止 a 医療事故と医療過誤 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-6 医療の質と安全管理 A-6-1) 安全性の確保 ①医療上の事故等の発生要因 (ヒューマンエラー、システムエラー等) を説明できる。 ②医療上の事故等に対する防止策を説明できる。	*青木 伸一郎
2026/05/14 (木) 4時限 14:50～16:20	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科患者の心理特性に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯科患者の特異的な心理状況について説明できる。 3. 患者対応時の注意点を列挙できる。 4. 患者の望む治療者 (歯科医師) の人間像を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者心理を行動科学4で復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配信資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/14 (木) 4時限 14:50～16:20	患者の心理 1) 歯科患者の特異性 2) 心理的配慮	無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ア 患者・障害者のもつ心理社会的問題と背景 e 健康格差、健康の社会的決定要因 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。	*青木 伸一郎
2026/05/21 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (1)	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接の意義と目的に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接で行う具体的な内容を説明できる。 4. 情報の伝達の難しさを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 話を聴く態度、感情への対応、患者を理解するために必要な事項についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。	大山 篤
2026/05/28 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (2) 1) 会話のマナー 2) コミュニケーションの進め方 3) 患者教育	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効率的に情報収集する仕方を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 聴く態度の重要性について説明できる。 3. 患者とのよいラポールを確立するための方法を説明できる。 4. 患者教育のためのコーチングスキルを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/05/28 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (2) 1) 会話のマナー 2) コミュニケーションの進め方 3) 患者教育	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	*青木 伸一郎
2026/06/04 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (3) 1) OSCE 2) ロールプレイ 3) 会話分析	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、効率的な会話スキルを学ぶ会話分析に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. OSCE (試験) の実施の仕方を概説できる。 3. ロールプレイの目的や方法を説明できる。 4. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 5. トランスクリプトの目的や方法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ロールプレイについてネット等で調べ復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配信資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ⑤診療室における患者の心理と行動を説明できる。</p>	*青木 伸一郎
2026/06/11 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (4) 1) 動機付け面接 2) 説明技法	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、動機付け面接、説明技法に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接を行うための基本的コミュニケーションを説明できる。 3. 信頼関係を確立するための医療面接スキルを説明できる。 4. 患者が理解しやすい説明の仕方を説明できる。 5. 患者の行動変容を促す動機付け面接を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の聴き方・説明の技法についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 配信資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p>	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/06/11 (木) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (4) 1) 動機付け面接 2) 説明技法	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。</p>	*青木 伸一郎
2026/06/18 (木) 4時限 14:50～16:20	平常試験 1	<p>【授業の一般目標】</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 医療行動科学4の1回目から9回目までの講義内容より出題する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>【学修方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄
2026/06/25 (木) 4時限 14:50～16:20	診療録 (1) 1) 診療録の構成 2) 現症 (全身的所見) 3) 現症 (口腔内・外所見) 4) 口腔内診査 5) 患者背景 (生活習慣・社会歴) 6) 主訴 7) 現病歴 8) 既往	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、診療録の構成・記載内容に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 診療録の構成を列挙できる。 3. 現症の基本的な記載について説明できる。 4. 口腔内診査の項目を列挙できる。 5. 患者背景の重要性を説明できる。 6. 主訴の定義と歯科特有の主訴を列挙できる。 7. 現病歴の基本的な記載について説明できる。 8. 医科的・歯科的既往歴の重要性を説明できる。 9. 家族歴の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 診療録とは、についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ④現症の取り方 (視診、触診、打診、聴診等) を説明できる。</p>	*岡本 康裕
2026/07/02 (木) 4時限 14:50～16:20	地域における患者関係 ～歯科医師会を中心として～	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実施するために、地域における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 3. 社会における歯科医師会の役割を概説できる。 4. 地域における病診連携を説明できる。 5. 地域における多職種連携の必要性について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 ・歯科医師会の役割についてネット等で調べ自修する。</p>	石井 広志

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/02 (木) 4時限 14:50～16:20	地域における患者関係 ～歯科医師会を中心として～	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療（インフォームド・コンセント、セカンドオピニオンなど）</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2 保健・医療・福祉・介護の制度 ⑧地域における保健・医療・福祉・介護の連携（地域包括ケアシステム）を説明できる。 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-5 チーム医療の実践 A-5-1 患者中心のチーム医療 ③保健・医療・福祉・介護における多職種連携と歯科医師の役割を説明できる。</p>	石井 広志
2026/07/09 (木) 4時限 14:50～16:20	診療録（2） 1）POS 2）POMR 3）SOAP	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、問題指向型診療録（POMR）およびSOAPに関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. POSについて解説できる。 3. POMRの記載項目を挙げて各々について説明できる。 4. SOAPの記載項目を挙げて各々について説明できる。 5. 診断思考に基づいた問診（病歴聴取）を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者記録の大切さについてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 b SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1 診察の基本 ⑦問題志向型診療記録（problem-oriented medical record <POMR>）を説明できる</p>	*岡本 康裕
2026/07/16 (木) 4時限 14:50～16:20	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科治療における口腔診査に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 口腔の特異性と口腔病変に対する基本的な考え方を説明できる。 3. 口腔内診査の特性について説明できる。 4. 口腔内診査に用いる基本的な診査法の術式を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 これまでに学んだ歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p>	*岡本 康裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/07/16 (木) 4時限 14:50~16:20	診 察 1) 口腔内診査 2) 診査所見 3) 理学的診査と病態	【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 イ 基本手技 a 視診、触診、打診、聴診 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ④現症の取り方 (視診、触診、打診、聴診等) を説明できる。	*岡本 康裕
2026/07/23 (木) 4時限 14:50~16:20	症候学 総論 1) 歯の症候 2) 歯髄の症候 3) 根尖歯周組織の症候 4) 辺縁歯周組織の症候 5) 歯科における臨床推論の特徴	【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、歯科疾患の症状・病態に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 齲蝕の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 3. 歯髄疾患の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 4. 根尖性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 5. 辺縁性歯周炎の症状、診査所見、病態を関連づけることができる。 6. 歯科における臨床推論の特徴を説明できる。 7. 症状、検査所見から診断名を推論できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 これまでに学んだ歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：配信資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体の配布は行いません。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。	*内田 貴之
2026/08/20 (木) 4時限 14:50~16:20	平常試験 2	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 医療行動科学 4 の1回目から9回目および11回目から15回目までの講義内容より出題する。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 202教室	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄
2026/09/08 (火) 4時限 14:50~16:20	医学におけるプロフェッショナルリズム	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を修得する。－プロとしての未知の世界への探求心と目的達成のプロセスを知る。－ 【行動目標 (SBOs)】 1. 突然死する心臓血管疾患を列挙できる。 2. 大動脈疾患の原因を列挙できる。 3. 大動脈疾患の症候を列挙できる。 4. 大動脈疾患の治療法と合併症を列挙できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：急性大動脈解離について ・準備学修時間：2時間 ・事後学修項目：胸部 (弓部) 大動脈瘤について ・事後学修時間：2時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】	*秦 光賢 *内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/08 (火) 4時限 14:50~16:20	医学におけるプロフェッションナリズム	<p>アクティブラーニング無、参考図書：大動脈瘤と大動脈解離がよくわかる本、病気が見える（第5版）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系〔骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系〕</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 1 全身の症候 ウ 呼吸・循環器</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 病因と病態 C-5-4) 循環障害 ①虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を説明できる。 ②出血の原因、種類及び転帰を説明できる。 ③血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 ④梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を説明できる。 ⑤浮腫の原因と転帰を説明できる。 ⑥ショックの成因と種類を説明できる。</p>	* 秦 光賢 * 内田 貴之
2026/09/15 (火) 4時限 14:50~16:20	問題志向型診療録 (2) 問題点の抽出、整理1-②（チーム）	<p>【授業の一般目標】 問題志向型診療録：全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。 4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 5. POMR（問題志向型診療録）の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 6. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 7. POS の形式に則った情報を整理できる。 8. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 9. 現症所見から正常、異常を判断できる。 10. 臨床診断名を決定した理由を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療(POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本</p>	* 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 岡本 康裕 * 遠藤 弘康 * 梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 * 桃原 直 * 岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/09/15 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (2) 問題点の抽出、整理1-② (チーム)	E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/09/29 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (4) 治療方針の立案1-② (個人)	【授業の一般目標】 問題志向型診療録(4)：全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。 4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 5. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 6. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 7. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 8. 診断名を決定した根拠を説明できる。 9. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 10. 基本的な患者教育の内容を立案できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療(POS)について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。 ⑦口腔と医科疾患との関連について説明することができる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/10/06 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (6) 問題点の抽出、整理2-① (個人)	【授業の一般目標】 問題志向型診療録(6)：全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/06 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (6) 問題点の抽出、整理2-① (個人)	<p>2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。</p> <p>3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。</p> <p>4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>5. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。</p> <p>6. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。</p> <p>7. POS の形式に則った情報を整理できる。</p> <p>8. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。</p> <p>9. 現症所見から正常、異常を判断できる。</p> <p>10. 臨床診断名を決定した理由を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療(POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan<SOAP>) で診療録を作成できる。</p>	鈴木 義孝 * 桃原 直 * 岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/10/13 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (8) 治療方針の立案2-①	<p>【授業の一般目標】</p> <p>問題志向型診療録 (8) : 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p> <p>2. 医療面接に適した態度で初診患者に対応した医療面接ができる。</p> <p>3. 医療面接で用いる言語的・非言語的コミュニケーションスキルが表現できる。</p> <p>4. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>5. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。</p> <p>6. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。</p> <p>7. 治療方針の立案の根拠を説明できる。</p> <p>8. 診断名を決定した根拠を説明できる。</p> <p>9. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。</p> <p>10. 基本的な患者教育の内容を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療(POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p>	* 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 岡本 康裕 * 遠藤 弘康 * 梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 * 桃原 直 * 岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/13 (火) 4時限 14:50～16:20	問題志向型診療録 (8) 治療方針の 立案2-①	有：グループディスカッションを行う。ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指 導、動機付け、治療への参加) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を 説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 E 臨床歯学 E-1 診察の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ③病歴聴取(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を 説明できる。 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明でき る F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, p lan<SOAP>)で診療録を作成できる。 ⑦口腔と歯科疾患との関連について説明することができる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測が できる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/10/20 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接(1) 「評価シート・評 価マニュアルの作 成」	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知 識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1.「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接の流れを説明できる。 4. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 5. 患者中心の歯科医療を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の評価項目について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの 進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教 育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を 説明できる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/10/20 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接(1) 「評価シート・評価マニュアルの作成」	②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/10/27 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接(3) 「評価シート・評価マニュアルの解説」・「医療面接の流れ」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接の流れを説明できる。 4. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 5. 患者中心の歯科医療を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 7. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 9. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の評価項目について復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/11/06 (金) 4時限 14:50~16:20	医療面接(5) ビデオ撮影・ロールプレイ演習(2)	【授業の一般目標】 医療面接: 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療(POS)について復習する。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃園 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/06 (金) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (5) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (2)	<p>・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） b 自己紹介、患者の確認 c マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応） d 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） e 患者への説明・声かけ・例示</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	<p>*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏</p>
2026/11/10 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (7) 「医療面接のReflection」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接（SP演習）で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接（SP演習）で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接（SP演習）で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接（SP演習）の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項</p>	<p>*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/10 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (7) 「医療面接のReflection」	<p>8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b 自己紹介、患者の確認</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/11/17 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (9) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (4)	<p>【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) e 患者への説明・声かけ・例示</p>	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/17 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接 (9) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (4)	<p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-1 プロフェッショナリズム</p> <p>A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p> <p>A-3 診療技能と患者ケア</p> <p>①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。</p> <p>A-4 コミュニケーション能力</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。</p> <p>②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p> <p>A-4-2) 患者と歯科医師の関係</p> <p>②患者に分かりやすい言葉で説明できる。</p> <p>F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習))</p> <p>F-2 基本的診察法</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。</p> <p>②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p> <p>③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。</p> <p>G 臨床実習</p> <p>G-2 基本的診察法</p> <p>①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	<p>*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏</p>
2026/11/24 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接 (11) 「医療面接のReflection」	<p>【授業の一般目標】</p> <p>医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p> <p>2. 医療面接に適した態度を分析できる。</p> <p>3. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。</p> <p>4. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。</p> <p>5. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。</p> <p>6. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 準備学修時間：30分 事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 事後学修時間：30分 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>8 診察の基本</p> <p>ウ 医療面接</p> <p>a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>2 社会と歯科医療</p> <p>サ 診療録、診療情報の記録と管理</p> <p>a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>8 診察の基本</p> <p>ウ 医療面接</p> <p>b 自己紹介、患者の確認</p> <p>c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-1 プロフェッショナリズム</p> <p>A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p> <p>A-3 診療技能と患者ケア</p> <p>①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。</p> <p>A-4 コミュニケーション能力</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。</p> <p>②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p> <p>A-4-2) 患者と歯科医師の関係</p>	<p>*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/11/24 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接 (11) 「医療面接のReflection」	②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/12/01 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接 (13) ビデオ撮影・ロールプレイ演習 (6)	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) e 患者への説明・声かけ・例示 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝 *桃原 直 *岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏
2026/12/08 (火) 4時限 14:50~16:20	医療面接 (15) 「医療面接のReflection」	【授業の一般目標】 医療面接：全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」	*内田 貴之 *青木 伸一郎 *岡本 康裕 *遠藤 弘康 *梶本 真澄 大沢 聖子 鈴木 義孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/08 (火) 4時限 14:50～16:20	医療面接 (15) 「医療面接のReflection」	<p>2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 サ 診療録、診療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、歯科技工指示書、模型) の管理・保存 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画) 8 診察の基本 ウ 医療面接 b 自己紹介、患者の確認 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	* 桃原 直 * 岩橋 諒 永井 邦彦 船越 光豊 須永 亨 森 正宏 井田 聡子
2026/12/15 (火) 4時限 14:50～16:20	ポートフォリオ	<p>【授業の一般目標】 全人的医療を実践するために、医療面接と臨床判断学に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ポートフォリオについて説明できる。 2. POS の形式に則った情報を整理できる。 3. POS の形式に則った情報を整理できる。 4. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 5. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 6. ポートフォリオを作成できる。 7. Web Classを操作できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 これまで学んだ行動科学について復習する。 ・準備学修時間：15分 ・事後学修項目：授業配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：20分 (臨床実習、本学付属病院の臨床研修にてポートフォリオを活用するので確実に理解する)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有・実習書 (配布)、スライドなどの説明資料</p>	* 内田 貴之 * 岡本 康裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/15 (火) 4時限 14:50～16:20	ポートフォリオ	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 診察の基本 ウ 医療面接 c マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 オ 医療の質の確保 a 患者満足度 8 診察の基本 ア 診察のあり方 b 心理・社会的側面 (プライバシー、尊厳、インフォームド・アセント)・苦痛への配慮 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b 自己紹介、患者の確認 d 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) e 患者への説明・声かけ・例示</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等)を説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。</p>	*内田 貴之 *岡本 康裕
2026/12/22 (火) 4時限 14:50～16:20	症候学 各論 (2) 歯髄炎	<p>【授業の一般目標】 歯髄炎の病態、治療法に対する知識を整理するために、歯内治療の流れを理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯髄炎の症状と特徴を説明できる。 3. 歯髄炎における痛みの原因を説明できる。 4. 歯髄炎の進行状況を説明できる。 5. 歯髄炎の流れを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：講義当日中に配信資料を振り返り、講義内容を確実に理解する。 ・事後学修時間：60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calenderにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体は希望者にのみ配布します。</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 202教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療</p>	*青木 伸一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2026/12/22 (火) 4時限 14:50～16:20	症候学 各論 (2) 歯髄炎	a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*青木 伸一郎
2027/01/12 (火) 4時限 14:50～16:20	症候学 各論 (4) 慢性歯周炎	【授業の一般目標】 慢性歯周炎の病態、治療法に対する知識を整理するために、歯周病治療の流れを理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 3. 歯周病における痛みの原因を説明できる。 4. 歯周病の進行状況を説明できる。 5. 歯周治療の流れを説明できる。 6. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：なし ・準備学修時間：なし ・事後学修項目：講義当日中に配信資料を振り返り、講義内容を確実に理解する。 ・事後学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・パワーポイント、Google Calendarにアップした資料を用いて講義を行います。紙媒体は希望者にのみ配布します。 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 202教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 a 歯肉病変とそのリスクファクター b 歯周炎とそのリスクファクター h 歯周疾患と健康の関わり b 歯周炎の予防・管理 c 咬合性外傷に対する治療 d 歯周外科治療 (切除療法、組織付着療法) j メンテナンス、SPT (supportive periodontal therapy) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メンテナンス法を含む) を説明できる。 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 ④歯周外科治療の種類と適応症を説明できる。	*遠藤 弘康